

農業委員会報

平成26年10月1日発行

農業委員会報 第74号

編集 農業委員会報編集部

発行 武蔵村山市農業委員会

武蔵村山市本町一丁目1-1

電話 (042) 565-1111

内線 226

第22期農業委員が 決まりました

第21期農業委員の任期満了に伴う第22期農業委員会統一選挙が7月6日に実施されました。

立候補者は10名で定数と同数であったことから、無投票で当選が決定しました。

これにより、市議会推薦2名、農業協同組合推薦1名、農業共済組合推薦1名を含め合計14名の新委員が決定しました。

また、統一選挙議、初めての臨時総会が7月24日に開催され、会長に高山充則委員、会長職務代理者に田代敏夫委員が選出されました。

新委員の皆さん、3年間よろしくお願いたします。



田代敏夫委員
会長職務代理
西部地区選出



高山充則委員
農業委員会会長
農業共済推薦

会長挨拶

農業委員会会長 高山充則

このたび、第22期農業委員皆様への御推挙をいただき、農業委員会会長に再任いたしました高山充則でございます。

この農業体験、子供たちの自然教育の場としての役割も多く持っています。

何分微力ではありますが皆様方のご指導ご鞭撻を賜りながら、3期9年の経験を生かし、農業者の代表の人として、皆様のためにより身近な農業委員づくりに努めてまいりたいと考えています。

このような状況を踏まえ、これからの本市農業につきましても「武蔵村山市第2次農業振興計画」になりますように、「生産の基盤になる農地の保全」「魅力のある農業経営の推進」、「農とふれあいのあるまちづくりの推進」を図り「市民の豊かな生活を彩る魅力あふれる武蔵村山農業」の実現に向け、農業委員会として努力してまいりたいと考えております。

農業を取り巻く環境も、まちづくりの展開が期待される中、都市化の進行に伴う農地の減少、担い手不足、農業者の高齢化、後継者不足等の問題を抱え、大変厳しい状況にあります。

半面、都市農業は、市民に新鮮で安全な農産物を直接提供できる場であり災害時の防災機能の役割や市民

最後になりますが、関係諸団体並びに皆様方のご支援、ご協力を心からお願い申し上げますとともに、皆様方の益々の御発展を御祈念いたしまして、会長就任の挨拶といたします。

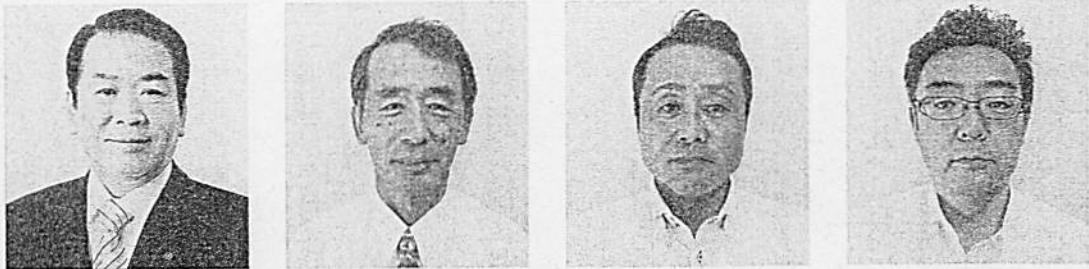
委員紹介

(議席順)

氏名
委員会役職名
選出区分



朝倉庄吉郎委員 波多野征敏委員 内野晴夫委員
農業経営部会長 中部地区選出
中部地区選出 議会推薦 東部地区選出



宮崎起志委員 山田昭一委員 藤野政彦委員 栗原秀夫委員
議会推薦 東部地区選出 東部地区選出 農協推薦



福島昭宏委員 高橋文雄委員 榎本英雄委員 木下和年委員 伊東誠司委員
農業経営部会副会長 西部地区選出 東部地区選出 中部地区選出 土地利用部会長 西部地区選出 土地利用部会副会長 東部地区選出

※ 市内を3地区に分け、地区ごとの担当委員として活動いたします。
※ 会長、職務代理は全地区を担当します。

西部地区	中部地区	東部地区	担当地区
残 後 岸 宿 ヶ 峰 堀 谷 戸	新 馬 横 中 赤 萩 海 道 場 田 村 堀 尾	原 原 神 入 谷 山 山 明 ケ 谷 鍛 第 一 山 戸 冶 ケ 谷 戸	区 域
波 宮 福 木 多 崎 島 下 野 起 昭 和 征 志 宏 年 敏 委 委 委 委 委員 員 員 員 員 (学 学 公 公 識 識 選 選)	朝 榎 栗 内 倉 本 原 野 庄 英 秀 晴 吉 雄 夫 夫 郎 委 委 委 委 委 員 員 員 員 (公 公 学 公 選 選 識 選)	山 藤 高 伊 田 野 橋 東 昭 政 文 誠 一 彦 雄 司 委 委 委 委 員 員 員 員 (公 公 公 公 選 選 選 選)	担 当 委 員

地区(地域)と担当委員
お困りのことがございましたら、地区農業委員にお気軽にご相談ください。

退任農業委員

このたび農業委員の任期満了により、7月19日をもって、次の方々が退任されました。多大なる業績に対し深く敬意を表します。長い間、ご苦勞さまでした。

(敬称略)

- 浅野 竹良・吉野 正博
- 乙幡 覺・高橋 茂
- 加園 光良・乙幡 司
- 山田 和男・進藤 健治
- 増尾 利一

農地を守ろう

農業委員会では、農地の適正な肥培管理を目的に毎年農地パトロールを実施しております。管理状況の悪い農地については、農業委員及び農業委員会から文章等により指導を行います。

なお、不耕作地は隣接地に迷惑を及ぼすほか、税金面でも多大な負担になります。不耕作地をなくしましょう。

農業委員・農業者大会開催

平成25年2月28日、昭島市民会館において第55回東京都農業委員・農業者大会が開催されました。

大会には農業関係者約九百人が参加し、農業委員会活動を積極的推進するため、農業委員会活動方針、活動スローガンをはじめ、東京農業の確立に関する要望等が決議されました。また、当日は受賞式典が行われ、本市では下記の方々が受賞されました。

今後とも益々のご活躍を期待いたします。



栄ある受賞者

企業の農業経営顕彰受賞

東京都農業会議会長賞
東京都知事賞

伊東 誠司氏
まり子氏



農業後継者顕彰受賞

東京都農業会議会長賞

山田 耕司氏
久美子氏



企業の農業経営顕彰受賞

東京都農業会議会長賞
東京都知事賞

小松菜研究部会



農業功労者表彰

神山 智明氏



北多摩地区農業

委員会連合会表彰

平成26年2月13日、東村山市市民センターで、北多摩地区農業委員会連合会による優秀農業経営者表彰が行われ、当市から加園好久氏が野菜部門で受賞されました。

おめでとうございます。これからも益々のご活躍ご期待いたします。

また、当日は農林省都市農村交流課都市農業室長沖和尚氏による「都市農業について」をテーマに記念講演が行われました。



援農ボランティアの 研修受入のお願い

市では、援農ボランティアを育成するため、農業実習の受入れをくださる協力農家を探しております。

研修後はそのままボランティアの受入れ先となります。

援農ボランティアとは、農業者の高齢化や担い手不足等から起きる未利用農地の発生を防ぎ、将来にわたり市民に新鮮で安全な農産物の供給を図ることを目的に、市内の農家から農作業の手伝いの依頼があった時に、ボランティアとしてあらかじめ登録して頂いた方を紹介し、一定期間、農作業実習をしていただく制度です。現在市内農家4件で13名の方が参加しています。

お問い合わせは、市役所産業課までお願いいたします。

電話042(565)1111 内線226

農業簿記講習会を 開催しています

農業委員会では、東京都農業会議に講師をお願いし、簿記講習会を開催しております。

講習内容は、主にパソコンを使った記帳の仕方など受講者の希望に沿った内容になります。受付は随時行います。

希望される方は、農業委員会事務局までご連絡ください。

電話(565)1111

内線226

農地を相続した人は 届出が必要ですよ

平成21年に行われた農地法の一部改正により、相続等により新たに農地の権利者になった者は、農地の大小、市街化・調整区域を問わず、権利を取得した日から10か月以内に農業委員会に届けなければならないことになりました。

詳細は、農業委員又は農業委員会事務局におたずねください。未届け者、虚偽報告者には10万円以下の過料等の罰則規定もありますのでご注意ください。

生産緑地の追加申請

生産緑地地区の追加申請は、毎年4月1日から7月末日までが申請期限です。市内農地を守るため積極的に申請しましょう。

問い合わせは、都市計画課

565-11111 (内線272)へ

生産緑地のあつせん

農業委員会では、農業者の死亡・疾病等により農業継続できなくなった農地の買い取り請求について、随時農業従事者等に対しあつせんを行っています。

詳細は、農業委員又は農業委員会事務局におたずねください。なお、生産緑地をあつせん等で取得した場合の期限は前所有者の期限を継続をします。

農業者年金の 加入を

農業者年金は、加入者・受給者数に左右されにくい積立方式(確定拠出型)の公的年金として平成14年1月よりスタートしました。

国民年金の第1号被保険者である農業者がより豊かな老後生活を送ることが出来るよう国民年金(基礎年金)に上乘せした公的な年金制度です。

支払う保険料は全額社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税が節税になります。

農業者年金についての問い合わせは

農業委員会事務局へ 565-11111

(内線)226へ

編集後記

農業委員会報74号をお届けいたします。

今回は新農業委員の紹介と担当地区を中心に掲載いたしました。

編集委員

高山 充則

”

田代 敏夫

”

木下 和年

”

朝倉 庄吉郎

”

福島 昭宏

”

伊東 誠司